

少額投資非課税制度(日本版ISA||NISA)が導入されるといって、金融機関の間で顧客誘致合戦がヒートアップしている。リスク資産への少額の投資を非課税にすることで、国民のリスク資産への投資を促進しようという狙いの制度だ。英国での同様の制度を参考にしている。

日本の国民の資産運用は非常に保守的である。金融資産の中で預貯金での運用割合が非常に高くなっている。こうした事態を是正する必要性はすいぶん前から指摘されてきたが、NISAの導入で成果が少しも出ることが期待される。



伊藤元重の

ニュースな見方

NISAが変える運用

米国の企業年金の制度で、多くの従業員はデフォルトの設定そのままのポートフォリオ選択をする傾向が強いという。客観的に見ると、デフォルト設定は極

国民が自らの合理的な判断で、預貯金での運用比率を高くしているとするれば、政策によってリスク資産に誘導することは好ましくな

預貯金「信奉」の呪縛解く

多くの経済学者によって指摘されてきた。

国民が自らの合理的な判断で、預貯金での運用比率を高くしているとするれば、政策によってリスク資産に誘導することは好ましくなる

とで、人々が選ぶポートフォリオも変化するという。ある程度リスクを許容したポートフォリオがデフォルトになるといえば、それを受け入れる人も多いという。

日本の多くの国民にとっ

た投資にすることはしない行動経済学で明らかにされているように、人々は現状から変化することに強い抵抗感を持つようだ。

行動経済学の実験では、デフォルトを変えてやること

(東大大学院

経済学研究科教授)

*この記事は日本経済新聞社の許諾を得て転載しています。